

委員会会議録

(一社) 滋賀県トラック協会

会議名	令和7年度 第1回 適正化事業運営委員会
開催日時	令和7年7月24日(木) 10:00～:11:30
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3階 「会議室」
出席者	委員12名、事務局6名

協議内容
<p>定刻開会。</p> <p>1. 開会にあたり松田本部長より挨拶があり、更新制度、飲酒運転、白ナンバーと様々な問題について、適正化と支局が連携し対策していきたい事、Gマークの認知度問題についても様々な意見をお願いしたいと挨拶があった。</p> <p>続いて、西村委員長より、Gマーク、自動点呼の周知に業界新聞を利用し取り組んでいきたい等挨拶があり、委員長が議事となり議事に入った。</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 適正化実施機関の活動状況について</p> <p>「令和6年度巡回指導調査結果」「令和7年度適正化実施機関の活動状況」について資料P1～6に基づき事務局より説明があり、下記意見があがった。</p> <ul style="list-style-type: none">・点呼機器導入について、中間点呼等を省略出来るメリットに対し、導入率が低い理由はなにか。→遠隔点呼は、ランニングコストが高いことが要因の1つではある。→自動点呼は、事業規模により違いはあるが、人を雇うよりコストがかかる可能性がある事。・始業前自動点呼はいつから利用可能か。→以前国土交通省に問い合わせた際には、早ければ7月末にはと回答をもらっている。ただ、8月に繰り越す可能性はある。・健康保険、労働保険について倉庫内作業、事務職もドライバーと同額の問題について解決策はないのか。→ハローワーク等に確認する。・健康診断に関する、指摘が多いが理由は何か。→雇い入れ時、年2回実施(深夜勤務)についての指摘が多い。・雇い入れ時の健康診断について未実施の理由は何か。→雇い入れ時の健康診断についての知識不足が多い。・健康診断の助成金はないのか。→協会から千円の助成金がある。・白トラ利用の有無は、口頭で確認しているのか。→マニュアルに基づき車検証、勘定元帳に基づき確認している。

・巡回指導での車庫飛ばし、白ナンバーの確認方法について
→運輸支局と連携し対策していく。

その後「令和7年度安全性評価事業申請状況」について資料P6～10に基づき報告を行った。

(2) 当面の事業計画について

「令和7年度「標準的な運賃」活用セミナーの開催について」「2025年度Gマーク事前申請説明会(案)」「Gマークラッピングトラックについて」「トラック業者向け労務管理説明会」開催について(案)」資料P11～18に基づき事務局より説明があり、下記意見があがった。

・Gマークの事前説明会はいつ頃の予定か。
→11月頃の開催を予定している。

その後「新物効法の施行及びトラック新法等説明会(案)」P19に基づき事務局より説明があり、下記意見があがった。

・開催予定日はいつ頃の予定か。
→2月頃を予定している。
・現時点で参加者数は何名ぐらいで予定しているのか。
→300名程度を予定している。
・参加対象者は会員のみか。
→会員事業者、荷主企業が対象。
・講師の人数は何名で予想しているのか。
→3名程度を予定しているが、調整は可能。

その後、2月頃に「琵琶湖マリオットホテル」にて開催することが決定し11月14日開催の「物流セミナー」開催までに案内を作成し、周知することとなった。

続いて「Gマークの広報について」について事務局より資料P20～29に基づき説明があり、下記意見があがった。

・ポスターの掲載場所の予定はどこか。
→物流セミナーの会場内、交通安全フェアの際に館内等に掲載予定。
・ポスターの掲載場所について、スーパーマーケットや市役所は可能か。
→今後検討していく。
・新幹線車内の電光掲示板を利用すると効果があるのではないか。
→コストがかかるため、実施できない。
・ノートのサイズはA4か。
→A4を予定している。
・ノート、ポスターのデザインは決まっているのか。
→作成部数によって変わるため、現段階では決まっていない。

その後ポスター、ノートの作成が決定した。

(3) その他

資料P30～31に基づき事務局より「支部長表彰」の周知の依頼を行った。

その後、松田会長より会議のスムーズな進行について事務局に対し、感謝を述べられ、議事が終了した。

以上で終了し、野々口副委員長より挨拶があり閉会となった。

次回 後日調整

以上